

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-249993

(43)Date of publication of application : 17.09.1999

(51)Int.Cl.

G06F 13/00

G06F 11/34

(21)Application number : 10-051816

(71)Applicant : HITACHI LTD

(22)Date of filing : 04.03.1998

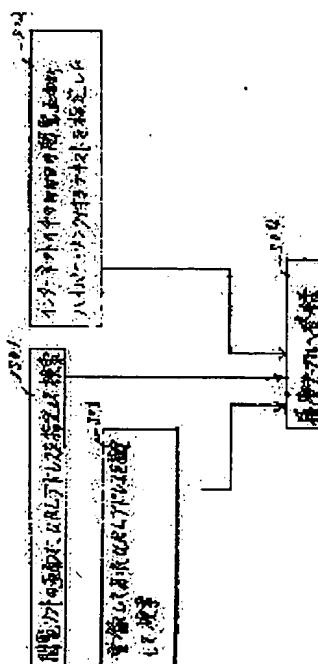
(72)Inventor : ARAGAI TOSHIFUMI
SAKAKURA KENJI

(54) RETRIEVAL SYSTEM FOR INTERNET ACCESS HISTORY

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To display the internet information for a fixed time by setting the display time etc., corresponding to the selected display method on a history retrieval method table and then retrieving an access history of an internet, based on the display time and by referring to the table.

SOLUTION: A URL is designated on a reading soft screen and the data of a hypertext structure contained in an internet server that is designated by the URL address are retrieved via a world wide web (S01). The history data on the retrieval execution processing are registered as a history including an access starting date and the internet address on a history table (S04). When a text including a hyperlink is designated via a retrieved screen, the text is registered on the history table as the history data (S02 to S04). Furthermore, when the URL address which is registered via the reading soft screen is designated and the retrieval of the address is designated via the reading screen of the world wide web, the retrieved URL address is registered on the history table as the history data (S03 to S04).



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-249993

(43) 公開日 平成11年(1999) 9月17日

(51) Int.Cl.⁶G 0 6 F 13/00
11/34

識別記号

3 5 4

F I

G 0 6 F 13/00
11/343 5 4 D
C

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 14 頁)

(21) 出願番号 特願平10-51816

(22) 出願日 平成10年(1998) 3月4日

(71) 出願人 000005108

株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地

(72) 発明者 新貝 敏文

神奈川県川崎市幸区鹿島田890番地 株式

会社日立製作所情報システム事業部内

(72) 発明者 坂倉 健司

神奈川県川崎市幸区鹿島田890番地 株式

会社日立製作所情報システム事業部内

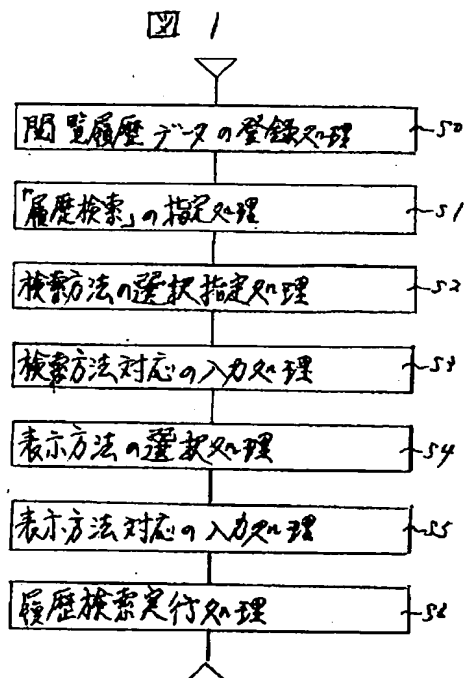
(74) 代理人 弁理士 小川 勝男

(54) 【発明の名称】 インターネットのアクセス履歴を検索するシステム

(57) 【要約】

【課題】従来のインターネット履歴検索処理は前記の特開平8-263525の「データ表示装置」に示す通り、インデックスタグ情報の表示できる有効範囲は画面上に表示できる範囲、あるいは回線の接続から切断までに限られる。

【解決手段】履歴検索方法の指定遷移の画面に従って入力や指定した内容を履歴検索方法テーブルにセットし、該内容を参照しながら履歴検索を実行する。該実行した結果を元に、抽出したURLから現在方向に向けて、URL履歴情報を元に検索し、通信部を介して取得したインターネット情報を履歴検索方法テーブルで指定した時間だけ表示する。さらに、URLの履歴テーブルを元に、履歴検索方法テーブルに指定した時間間隔で履歴テーブルよりURLを抽出し、該URLの示すインターネット・サーバよりデータを通信部を介して受信し、表示する方法により過去のインターネット情報を容易に検索できる。



1

【 特許請求の範囲】

【 請求項1 】 インターネットにおいて、インターネット・サーバーに接続されたクライアント装置より閲覧した履歴データを登録する手段と、画面上の履歴検索を指定する手段と、該指定を元に検索方法を画面上に表示して、該検索方法の中から特定検索方法を選択する手段と、該選択されたら検索方法対応の遡り量入力項目を画面上に表示して、該遡り量を入力する手段と、該入力を元に表示方法の選択画面を表示して選択する手段と、該選択に対応して表示方法対応に表示時間等の入力画面を表示して入力する手段と、該結果を元に履歴検索を実行する手段と、を備えることを特徴とするインターネットのアクセス履歴を検索するシステム。

【 請求項2 】 請求項1 のインターネット・サーバーに接続されたクライアント装置において、表示方法の選択画面に対応して、表示時間等の入力画面を表示して入力する手段は、事前にデータを設定することで入力の代行をすること、を特徴とするインターネットのアクセス履歴を検索するシステム。

【 請求項3 】 請求項1 のインターネット・サーバーに接続されたクライアント装置において、前記の検索方法の中から特定検索方法を選択する手段は時間やURL 数を指定して行うことを特徴とするインターネットのアクセス履歴を検索するシステム。

【 請求項4 】 請求項1 のインターネット・サーバーに接続されたクライアント装置において、前記の表示方法の選択画面を表示して選択する手段は、時系列にインターネット画面を一定時間表示と、時系列にインターネット画面を一定時間表示と履歴データを時間間隔に選択してインターネットより閲覧し、表示することを特徴とするインターネットのアクセス履歴を検索するシステム。

【 発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【 発明の属する技術分野】 本発明はインターネットの閲覧方法に関し、特に閲覧履歴を元に効率よく戻り処理や送り処理をして、特定の閲覧履歴を検索する方法に関する。

【 0 0 0 2 】

【 従来の技術】 インターネットで、ハイパーテキストで構成されたデータを閲覧ソフトで検索して表示した画面や、該閲覧画面の中で閲覧可能になっているある項目を指定した結果、検索して表示した画面を元に、該閲覧したURL 情報の中のファイル情報や該ファイルの属性を元にタグ情報をつけ、必要なら該タグ情報を指定することにより戻り処理をすることは実用化されている。

【 0 0 0 3 】 この種のインターネット履歴検索処理としては、例えば特開平8 - 2 6 3 5 2 5 号公報の「データ表示装置」がある。該発明においては、インターネット検索処理時のURL 情報を履歴としてインデックス情報テーブルに出力する。インデックス情報テーブルの項目

2

はサーバ名・ファイル名・インデックスタグ情報で構成される。インデックス情報テーブルのインデックスタグ情報に対応したインデックスタグ情報を画面上に持ち、該画面上のインデックスタグ情報を指定したら、インデックス情報テーブル上の該インデックスタグ情報をもつURL を参照し、該URL が指定した情報を、通信部を介して該URL が指定するインターネット・サーバより取得して画面に表示する、という方法である。

【 0 0 0 4 】

【 発明が解決しようとする課題】 従来のインターネット履歴検索処理は前記の特開平8 - 2 6 3 5 2 5 号公報の「データ表示装置」に示す通り、インデックスタグ情報の表示できる有効範囲は画面上に表示できる範囲、あるいは回線の接続から切断までに限られる。したがって、該範囲のインターネット履歴検索はできる。しかし、画面上に表示できる範囲を超える履歴検索処理はできない。あるいは複数回の、回線の接続から切断を含む履歴検索処理はできない。

【 0 0 0 5 】 本発明の目的は、数分前への遡りから履歴データの記録開始時まで、遡り時間を指定して検索する。あるいは遡りURL 数を指定して検索する。該結果選択したURL から現在方向に向けて、自動的にURL 履歴情報を元に検索し、通信部を介して取得したインターネット情報を一定時間表示する。さらに、URL 履歴情報を元に、ある時間間隔に、自動的に通信部を介して取得したインターネット情報を表示する。該インターネット履歴検索によって、画面上に表示できる範囲を超えて履歴検索を行える。また、回線の接続・切断に関係なくファイルに登録されている履歴で検索処理ができるようにすることにある。

【 0 0 0 6 】

【 課題を解決するための手段】 インターネットにおいて、インターネット・サーバーに接続されたクライアント装置より閲覧した履歴データを履歴テーブルに登録する。履歴検索が必要になったら画面上の履歴検索ボタンを指定する。該指定を元に検索方法を画面上に表示して、該検索方法の中から特定検索方法を選択する。該選択した検索方法記号を履歴検索方法テーブルにセットする。該選択されたら検索方法対応の遡り量入力項目を画面上に表示して、入力する。該入力した検索方法対応の遡り量(時間、URL 数) を履歴検索方法テーブルにセットする。該入力を元に表示方法の選択画面を表示して選択し、該選択した表示方法記号を履歴検索方法テーブルにセットする。該選択に対応して表示方法対応に表示時間等の入力画面を表示して入力する。該選択した表示方法対応の表示時間等を履歴検索方法テーブルにセットする。該結果を元に履歴検索方法テーブルを参照しながら履歴検索を実行する。該実行した結果、抽出したURL から現在方向に向けて、自動的にURL 履歴情報を元に検索し、通信部を介して取得したインターネット情報

10

20

30

40

50

を履歴検索方法テーブルで指定した時間だけ表示する。さらに、URLの履歴テーブルを元に、履歴検索方法テーブルに指定した時間間隔で履歴テーブルよりURLを抽出し、該URLの示すインターネット・サーバよりデータを通信部を介して受信し、表示する方法もある。該インターネット履歴検索によって、すばやく過去の知りたいインターネット情報を履歴データより検索することができるので課題を解決できる。

【0007】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を、図1から図16を参照して説明する。図16はインターネット用クライアント装置のブロック図である。クライアント側の装置は、電子計算機システム1、中央処理装置(CPU)2、キーボード(KB)3、マウス4、表示装置としてはCRTまたはLCD5、外部記憶装置6、メモリ9、通信制御装置7は、公衆回線接続の場合は内蔵モデム、LAN接続の場合はLANボード、ISDN回線の場合はISDNボード、ターミナル・アダプタ(TA)およびデジタル・サービス・ユニット(DSU)からなる。回線8は、公衆回線接続の場合は公衆回線、LAN接続の場合はLAN接続ケーブル、ISDN回線の場合はISDN回線を表す。

【0008】まず、図1の履歴検索処理ブロック図において、ステップS0の「閲覧履歴データの登録処理」は図2の「履歴データの登録ブロック図」を用いて説明を行う。図16のインターネット用クライアント側の装置(電子計算機システム1)で、閲覧ソフト画面にURLを指定して、ワールド・ワイド・ウェブ(WWW)を介し、URLアドレスで指定したインターネット・サーバにあるハイパー・テキスト構造のデータを検索する処理を、クライアント側の装置(電子計算機システム1)から閲覧ソフトの画面にURLアドレスを変えながら使用しているとき、該履歴データは図13の履歴テーブル(又はファイル)にアクセス開始日時とインターネット・アドレスを含んで履歴として登録される(ステップS01)。日時を変えて該処理と同様の処理をした内容も同様に履歴テーブルに登録される。また、検索したインターネットのワールド・ワイド・ウェブ(WWW)画面より、ハイパー・リンク付きテキストを指定したとき履歴データとして履歴テーブルに登録される(ステップS02)。また、同様に、閲覧ソフト画面で登録してあったURLアドレスを指定してインターネットのワールド・ワイド・ウェブ(WWW)の閲覧画面より検索を指定したとき履歴データとして履歴テーブルに登録される(ステップS03)。上記インターネットに接続されたクライアント側の装置(電子計算機システム1)から閲覧ソフトの画面にURLアドレスを指定していろいろのインターネット・サーバよりデータを検索しているときに数分前、数時間前、数URL前の内容を再度確認したいときがある。該以前のURL等に戻りたいとき本発明の内容を用

いる。

【0009】図1の履歴検索処理ブロック図、図13の履歴検索方法の指定遷移図、図14の履歴テーブル、図15の履歴検索方法テーブル、図16のインターネット用クライアント装置のブロック図を使って説明する。まず、「履歴検索」の指定処理(ステップS1)では、クライアント側の装置(電子計算機システム1)の使用者は履歴検索の指定画面20にある履歴検索ボタン21をマウス4でクリックし選択する。該結果を元に図15の履歴検索方法テーブルに履歴検索記号51をセットする。検索方法の選択指定処理(ステップS2)では、検索方法の選択画面22を表示し、該使用者は選択項目をマウス4でクリックしたら、図15の履歴検索方法テーブルに検索方法記号52をセットし、該検査方法対応の入力項目画面(27、28または29)を表示する。該表示内容を元に、検索方法対応の入力処理(ステップS3)では、該使用者は検索方法対応の入力項目を入力する。該結果を元に、図15の履歴検索方法テーブルに検索方法対応の遡り時間等53をセットする。表示方法の選択処理(ステップS4)では、該使用者は表示方法の選択画面30よりマウス4でクリックして選択する。該選択を元に、図15の履歴検索方法テーブルに表示方法記号54をセットする。表示方法対応の入力処理(ステップS5)は事前にデータを設定しておくことで、該ステップをスキップできる。表示方法対応の入力処理(ステップS5)では、表示方法の選択対応に、表示時間34を入力したり、あるいは表示間隔時間35と表示時間36を入力する。該結果を元に、図15の履歴検索方法テーブルに表示方法対応の表示時間55・表示間隔時間56をセットする。該結果を元に、クライアント側の装置(電子計算機システム1)の履歴検索実行処理(ステップS6)は、図15の履歴検索方法テーブルと図14の履歴テーブルを用いて実行処理を行う。該履歴テーブルはCPU2のメモリ9内または外部記憶装置6に持つ。メモリ内は一時的であり、随時ファイルに更新情報を記録する。インターネット閲覧の終了時はファイルに全部記録する。該履歴テーブルの構造は、アクセス開始日時40がキーである。また、先頭レコードへのリンク・ポインタと最終レコードへのリンク・ポインタを保持し、各レコードは前後のレコードと連結するリンク・ポインタを保持する。

【0010】ステップS1以下のステップを更に詳細に説明する。まず、「履歴検索」の指定処理(ステップS1)を図3の「履歴検索の指定処理」により説明する。クライアント側の電子計算機システム1の使用者は図13の中の「履歴検索の指定画面」20にある履歴検索ボタン21をマウス4でクリックして選択する(ステップS11)。該選択を元に「履歴検索」を図15の履歴検索方法テーブルの履歴検索記号51にセットする(ステップS12)。該結果を元に、図13の中の「検索方法

5

の選択画面」22を表示する(ステップS13)。検索方法の選択指定処理(ステップS2)では、図4を用いて説明する。図13の中の「検索方法の選択画面」22で、該使用者が検索方法を選択したら次ステップに行く。STOP37が選択されたら終了する(ステップS21)。「検索方法」を図15の履歴検索方法テーブルに検索方法記号52としてセットする(ステップS22)。該結果を元に、「検索方法対応の入力項目画面」26を表示する(ステップS23)。「検索方法の選択画面」22で、「何日何時間何分前」23が指定されたら「検索方法対応の入力項目」画面では「日 時間分前」27を表示し、同様に「何分前」24が指定されたら「分前」28、「何URL前」25が指定されたら「URL前」29を表示する。検索方法対応の入力処理(ステップS3)では、図5を用いて説明する。図13の中の「検索方法対応の入力項目画面」26で、検索方法対応の入力項目(27または28または29)に入力する(ステップS31)。検索方法対応の入力項目(27または28または29)は正常入力か(ステップS32)確認し、エラーがあれば「入力エラー・メッセージ」を表示し(ステップS33)、ステップS31に戻る。正常入力ならば、「検索方法対応の入力項目」を図15の履歴検索方法テーブルの検索方法対応の遡り時間(URL数)53にセットする(ステップS34)。該ステップS34を元に図13の中の「表示方法の選択画面」30を表示する(ステップS35)。「表示方法の選択処理」(S4)は、図13の中の「表示方法の選択画面」30を用いて、図6の「表示方法の選択処理」により行う。図13の中の「表示方法の選択画面」30で、表示方法が選択されたか確認し、STOPボタン37が選択された場合は終了し、そうでない場合は次のステップに行く(ステップS41)。該表示方法の選択がマウス4で行われたら記号を図15の中の表示方法記号54にセットする(ステップS42)。該ステップS42を元に、図13の中の「表示方法対応の入力項目画面」(33)を表示する。図13の中の「表示方法の選択画面」30で「時系列に一定時間表示」31を選択したら、「表示方法対応の入力項目画面」33では「秒間表示」34を表示し、同様に「履歴データを時間間隔表示」32を選択したら、「表示方法対応の入力項目画面」33では「秒間隔表示」35と「秒間表示」36を表示する(ステップS43)。「表示方法対応の入力処理」(ステップS5)は、図7の「表示方法対応の入力処理」により、図13の中の「表示方法対応の入力項目画面」33を用いて行う。ステップS43により、「表示方法対応の入力項目画面」33が表示されているので、該表示内容に対して入力する(ステップS51)。該「表示方法対応の入力項目」が正常入力か判断する(ステップS52)。エラーがあれば、「エラー・メッセージ」をセットして表示し(ステップS53)、

6

ステップS51に行く。正常入力ならば、「表示方法対応の入力項目」を図15の履歴検索方法テーブルの「表示方法対応」エリア(55、56)にセットする(ステップS54)。図13の中の「表示方法の選択」30で、「時系列に一定時間表示」31を選択した場合、図15の中の「表示方法対応」の「表示時間」エリア55にセットし、「履歴データを時間間隔表示」32を選択した場合、図15の中の「表示方法対応」の「表示時間」エリア55と「表示間隔時間」エリア56にセットする。次に、「履歴検索実行処理」(ステップS6)は図8から図11の「履歴検索実行処理」(NO.1からNO.4)と図12の経時サブ・ルーチンで行う。まず、図15の履歴検索方法テーブルの検索方法記号52の指定方法が「URL前」25指定の場合は、ステップS630に行く。同様に、「何分前」24指定の場合はステップS603に行く。同様に、「何時間何分前」23指定の場合は、次のステップS602に行く(ステップS601)。ステップS34でセットした遡り時間53を遡り分数(ワークエリア省略-)に変換する(ステップS602)。該ステップS602はS34で行っても良い。[(現在時刻) - (遡り分数)] を計算し、「要求日時」(ワークエリア省略-)に変換してセットする(ステップS603)。そして、図14の履歴テーブルの先頭に位置付ける(ステップS604)。次に図14の履歴テーブルを前進ポインタで読む(ステップS605)。履歴テーブルの最終か判定する(ステップS606)。判定が成立する場合、エラー・メッセージ「履歴テーブルの最後に達した」を表示し(ステップS608)、終了する。判定が成立しない場合、[履歴時刻 ≥ 要求日時] の比較をする(ステップS607)。成立しない場合はステップS605に戻る。成立する場合は、次のステップS610に行く。履歴テーブルのURL41をインターネットの閲覧ソフトのアドレス・エリアにセットする(ステップS610)。その後、該サーバー・サイトへ向け通信制御装置7、回線8を経由して送信要求する(ステップS611)(公知)。該サーバー・サイトより回線8、通信制御装置7を経由してCPU(2)のメモリ9に受信する(ステップS612)(公知)。本受信内容をインターネット閲覧の画面5に表示する(ステップS613)(公知)。次に、オペレーティング・システムより現在時刻を取得(ステップS614)する。該取得現在時刻と図15の中の「表示方法対応の表示時間」エリア55を元に[現在時刻+表示秒数] を計算し、表示限度時刻エリア(インターフェース・エリア省略-)にセットする(ステップS615)。該セット内容を元に経時サブ・ルーチンをコールする(ステップS616)。図12の経時サブ・ルーチンでは、ステップS615で取得した表示限度時刻をセットする(ステップS640)。該セットを元に表示限度時刻の終了監視を行う(ステップS64

7

1)。表示限度時刻に達したら、該サブ・ルーチンを終了し、経時サブ・ルーチンの次ステップ(ステップS617)に戻る(ステップS642)。インターネット用クライアント装置(電子計算機システム1)を使用しているユーザがマウス4を用いて「STOP」ボタン37のクリックをしたか否かを確認する(ステップS617)。該クリック・サインがあった場合、本システムを出る。該クリック・サインがなかった場合、図15の中の表示方法記号54は「時系列に一定時間表示」か確認する(ステップS620)。成立する(=YES)場合は、S622に行く。成立しない(=NO)場合は次のステップ(ステップS621)に行く。ステップS603で算出した要求日時(ワークエリア省略-)と図15の中の表示方法対応の表示間隔時間56を元に、[要求日時+表示間隔時間]を計算し、要求日時(ワークエリア省略-)を再設定する(ステップS621)。その後、S605に戻る。S622では「履歴テーブル」を前進ポイントで読む。履歴テーブルの最終に達したか判断する(ステップS623)。該判断が成立する場合は、メッセージ「履歴テーブルの最後に達した」を表示し(ステップS624)、終了する。該判断が成立しない場合は、ステップS610に行く。ステップS601において、図15の履歴検索方法テーブルの中の検索方法記号52が「何URL前」25指定の場合、図14の履歴テーブルの最終ポイントに位置付ける(ステップS630)。その後、履歴URL数カウンタ(ワーク・エリア)にゼロをセットする(ステップS631)。次に、図14の履歴テーブルを後退ポイント(最終レコードへのリンク・ポイントや、各レコードが保持する前後のレコードと連結するリンク・ポイントを利用して、後ろから読む方法)で読む(ステップS632)。履歴テーブルが最終に達したか否か判断する(ステップS633)。判断が成立する場合は、エラー・メッセージ「履歴テーブルの先頭に達した」を表示し(ステップS634)、終了する。判断が成立しない場合は、履歴URL数カウンタ(ワーク・エリア)に「1」を加算する(ステップS635)。次に、履歴URL数カウンタ(ワーク・エリア)と図15の履歴検索方法テーブルの検索方法対応の遡りURL数53を元に[履歴URL数カウンタ ≥ 遡りURL数]を比較する。該結果、成立しない場合は、ステップS632に戻る。成立する場合は、次ステップ(ステップS637)に行く(ステップS636)。図14の履歴テーブルのアクセス開始日時40を要求日時(ワーク・エリア省略-)にセットし、ステップS610に行く(ステップS637)。

【0011】

【発明の効果】インターネット履歴検索によって、過去の知りたいインターネット情報を、検索履歴データより時間やURL数等を指定して検索する。検索したURLから現在方向に、URLをもとに検索した情報を順次一

8

定時間ずつ表示したり、一定時間間隔毎にURLを抽出して、該各々URLをもとに検索した情報を一定時間ずつ表示することで、容易に過去の知りたいインターネット情報を見つけられる効果が出た。

【図面の簡単な説明】

【図1】履歴検索処理ブロック図。

【図2】履歴データの登録ブロック図。

【図3】履歴検索の指定処理。

【図4】検索方法の選択指定処理。

【図5】検索方法対応の入力処理。

【図6】表示方法の選択処理。

【図7】表示方法対応の入力処理。

【図8】履歴検索実行処理(1/4)。

【図9】履歴検索実行処理(2/4)。

【図10】履歴検索実行処理(3/4)。

【図11】履歴検索実行処理(4/4)。

【図12】経時サブ・ルーチン。

【図13】履歴検索方法の指定遷移図。

【図14】履歴テーブル(またはファイル)。

【図15】履歴検索方法テーブル。

【図16】インターネット用クライアント装置のブロック図。

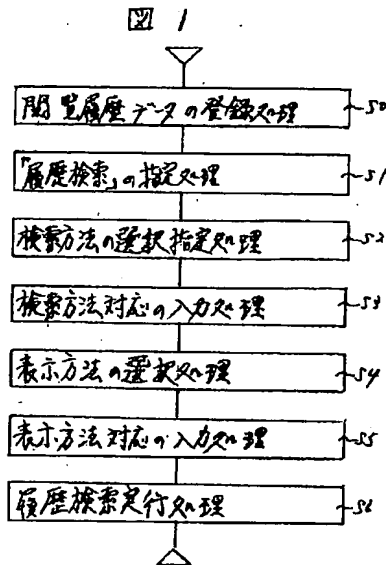
【符号の説明】

1…電子計算機システム、2…中央処理装置(CPU)、3…キーボード(KB)、4…マウス、5…CRTまたはLCD、6…外部記憶装置、7…通信制御装置(公衆回線接続の場合は内蔵モデム、LAN接続の場合はLANボード、ISDN回線の場合はISDNボードとターミナル・アダプタ(TA)およびデジタル・サービス・ユニット(DSU)を表す)、8…回線(公衆回線接続の場合は公衆回線、LAN接続の場合はLAN接続ケーブル、ISDN回線の場合はISDN回線を表す)、9…メモリ、20…履歴検索の指定画面、21…履歴検索の指定画面の「履歴検索」ボタン、37…履歴検索の指定画面の「STOP」ボタン、22…検索方法の選択画面、23…検索方法の選択画面の「何日何時間何分前」項目ボタン、24…検索方法の選択画面の「何分前」項目ボタン、25…検索方法の選択画面の「何URL前」項目ボタン、26…検索方法対応の入力項目画面、27…検索方法対応の入力項目画面の「日時間 分前」入力項目エリア、28…検索方法対応の入力項目画面の「 分前」入力項目エリア、29…検索方法対応の入力項目画面の「 URL前」入力項目エリア、30…表示方法の選択画面、31…表示方法の選択画面の「時系列に一定時間表示」項目ボタン、32…表示方法の選択画面の「履歴データを時間間隔表示」項目ボタン、33…表示方法対応の入力項目画面、34…表示方法対応の入力項目画面の「 秒間表示」入力項目エリア、35…表示方法対応の入力項目画面の「 秒間隔表示」入力項目エリア、36…表示方法対応の入力項目

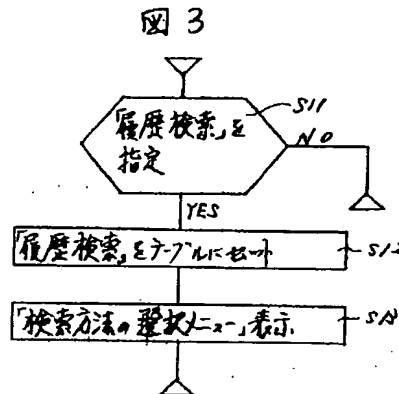
画面の「 秒間表示」入力項目エリア、40…履歴テーブル(またはファイル)の「アクセス開始日時」項目、41…履歴テーブル(またはファイル)の「インターネット・アドレス(URL)」、42…履歴テーブル(またはファイル)の実例1、43…履歴テーブル(またはファイル)の実例2、44…履歴テーブル(またはファイル)の実例3 50…履歴検索方法テーブルの項目エリア、51…履歴検索方法テーブルの「履歴検索記号」項目エ

ア、52…履歴検索方法テーブルの「検索方法記号」項目エリア 53…履歴検索方法テーブルの「検索方法対応の遊び時間(URL数)」項目エリア、54…履歴検索方法テーブルの「表示方法記号」項目エリア、55…履歴検索方法テーブルの「表示方法対応表示時間」項目エリア、56…履歴検索方法テーブルの「表示方法対応表示間隔時間」項目エリア。

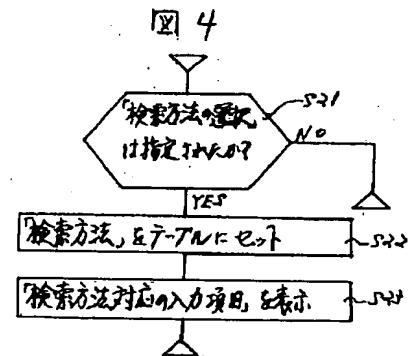
【 図1 】



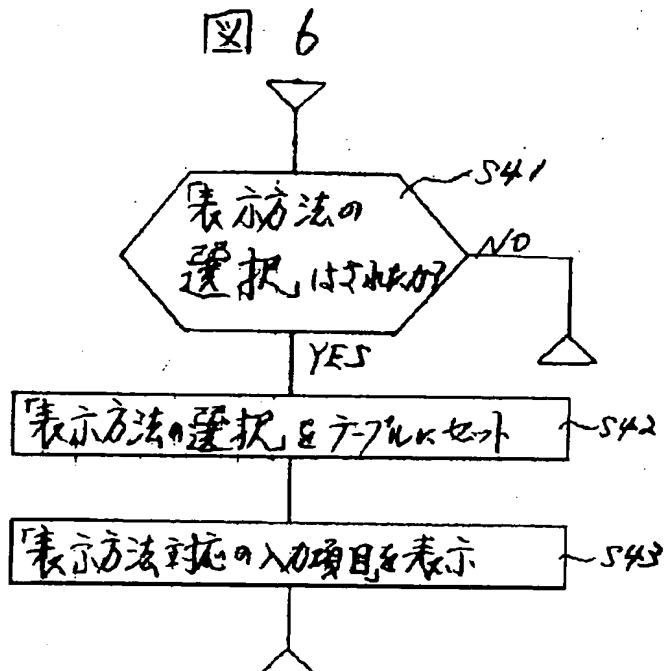
【 図3 】



【 図4 】

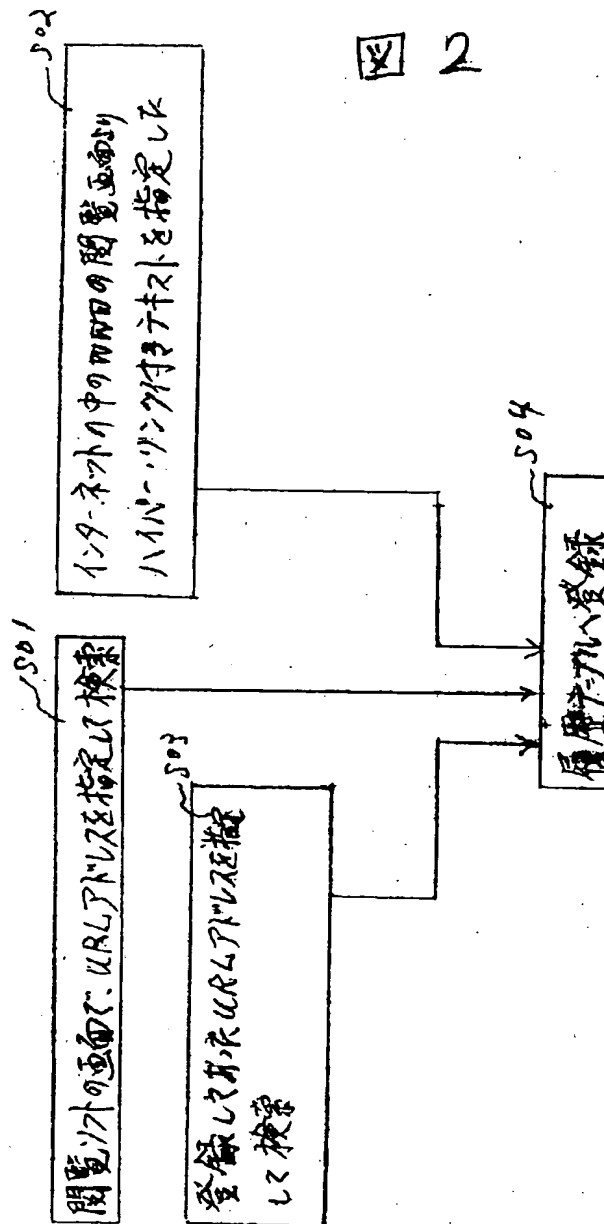


【 図6 】

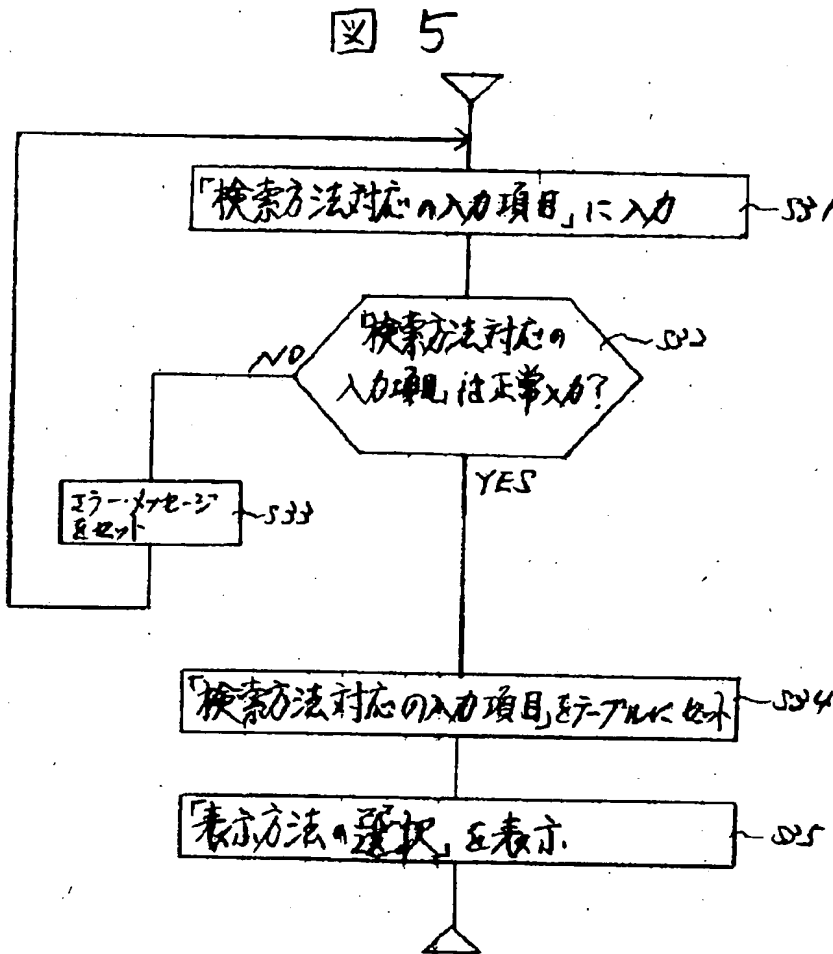


【図2】

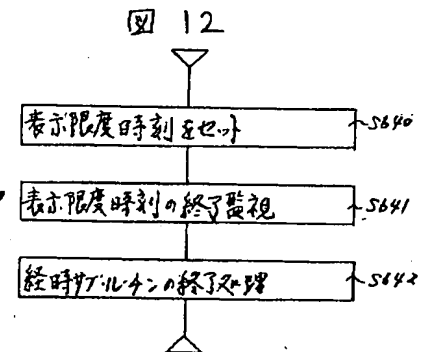
図 2



【 図5 】



【 図12 】



【 図14 】

図 14

アクセス開始日時	インターネットアドレス(URL)
97/04/02 10:00	http://www.hitachi.co.jp/index-j.html
97/04/02 11:00	http://www.hitachi.co.jp/home-j.html
97/04/02 11:20	http://www.hitachi.co.jp/menu-j.html

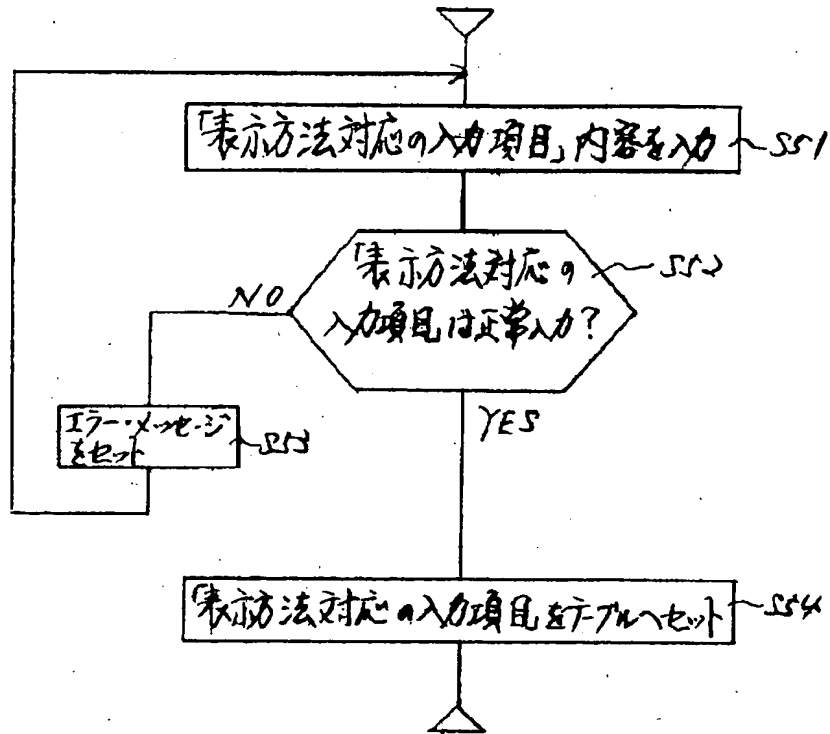
【 図15 】

図 15

項目一覧	
履歴検索記号	S1
検索方法記号	S2
検索方法対応の漸増時間(URL数)	S3
表示方法記号	S4
表示方法対応	表示時間 S5
	表示間隔時間 S6

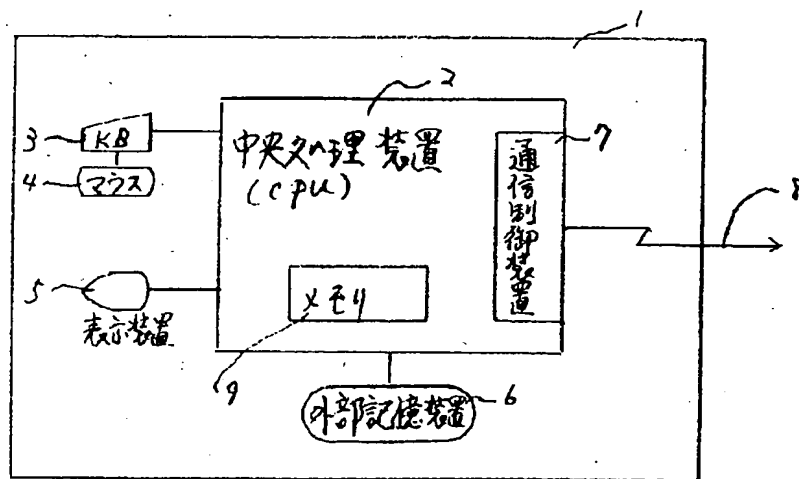
【 図7 】

図 7



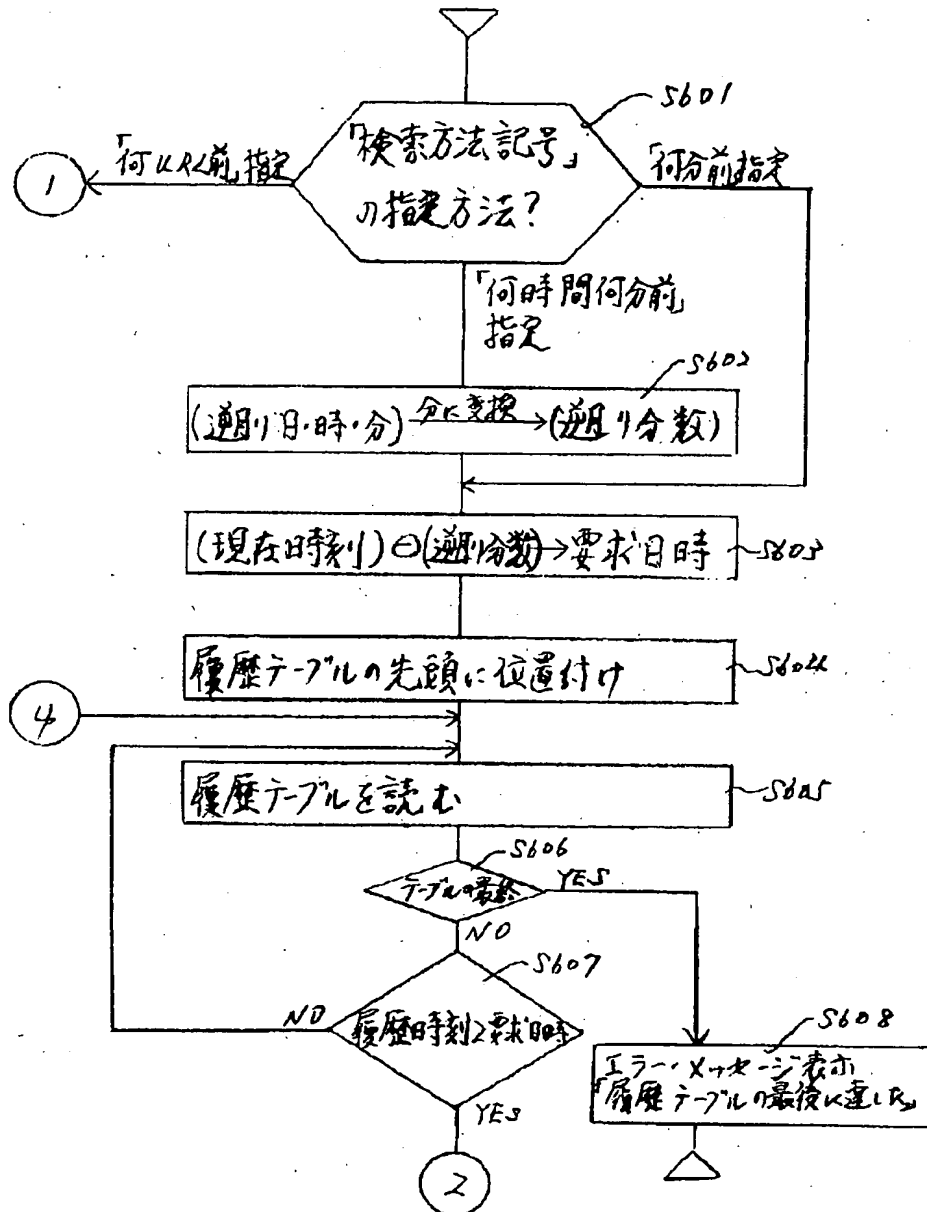
【 図16 】

図 16

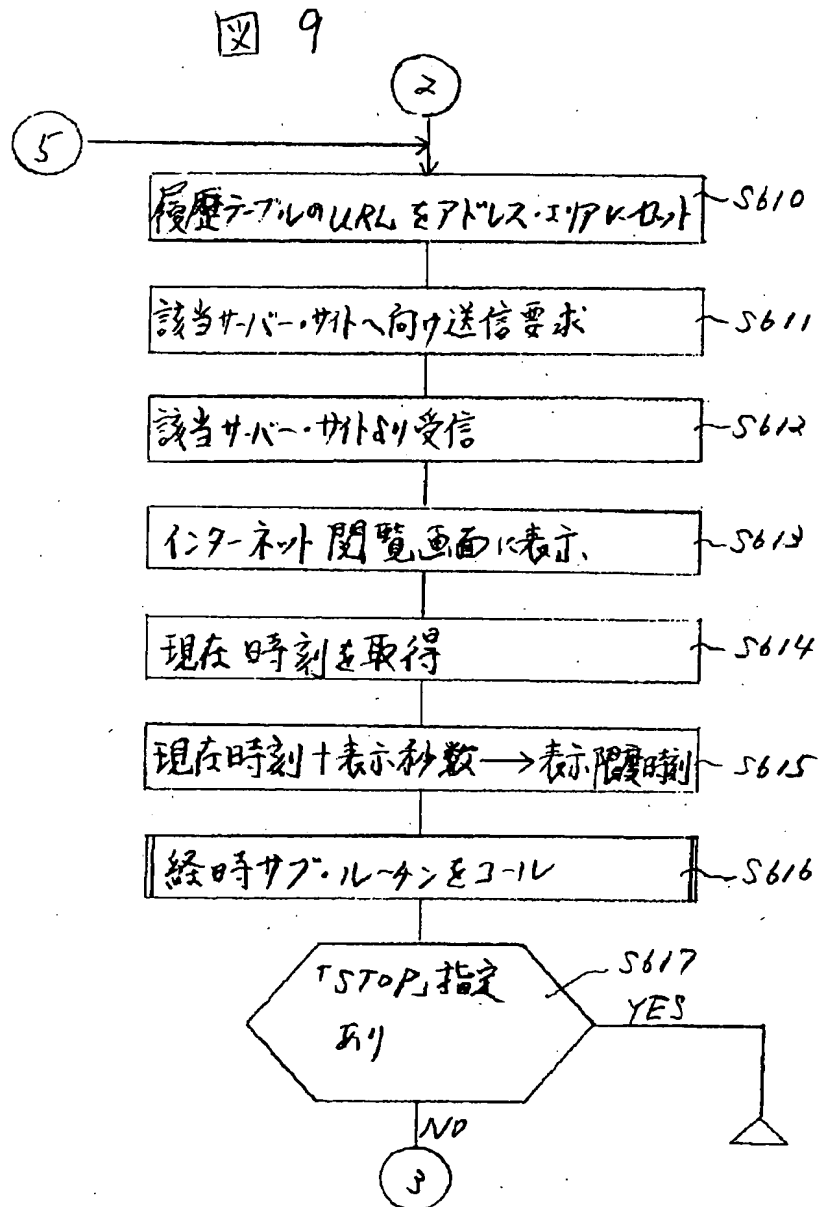


【 図8 】

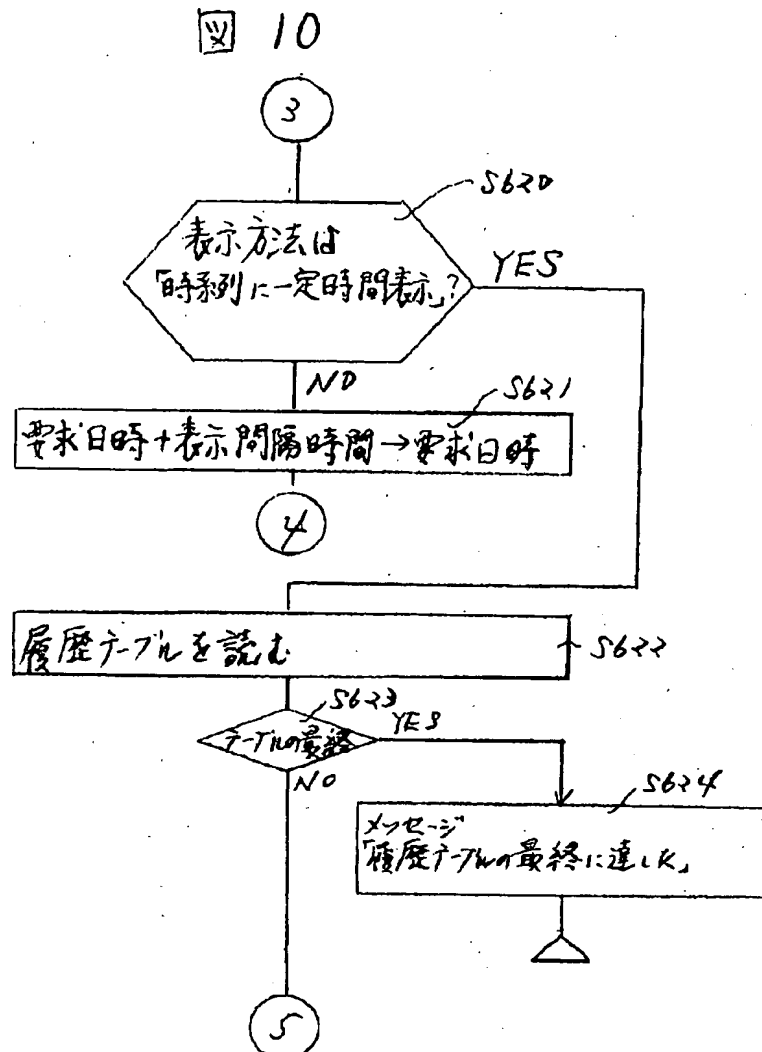
図 8



【 図9 】

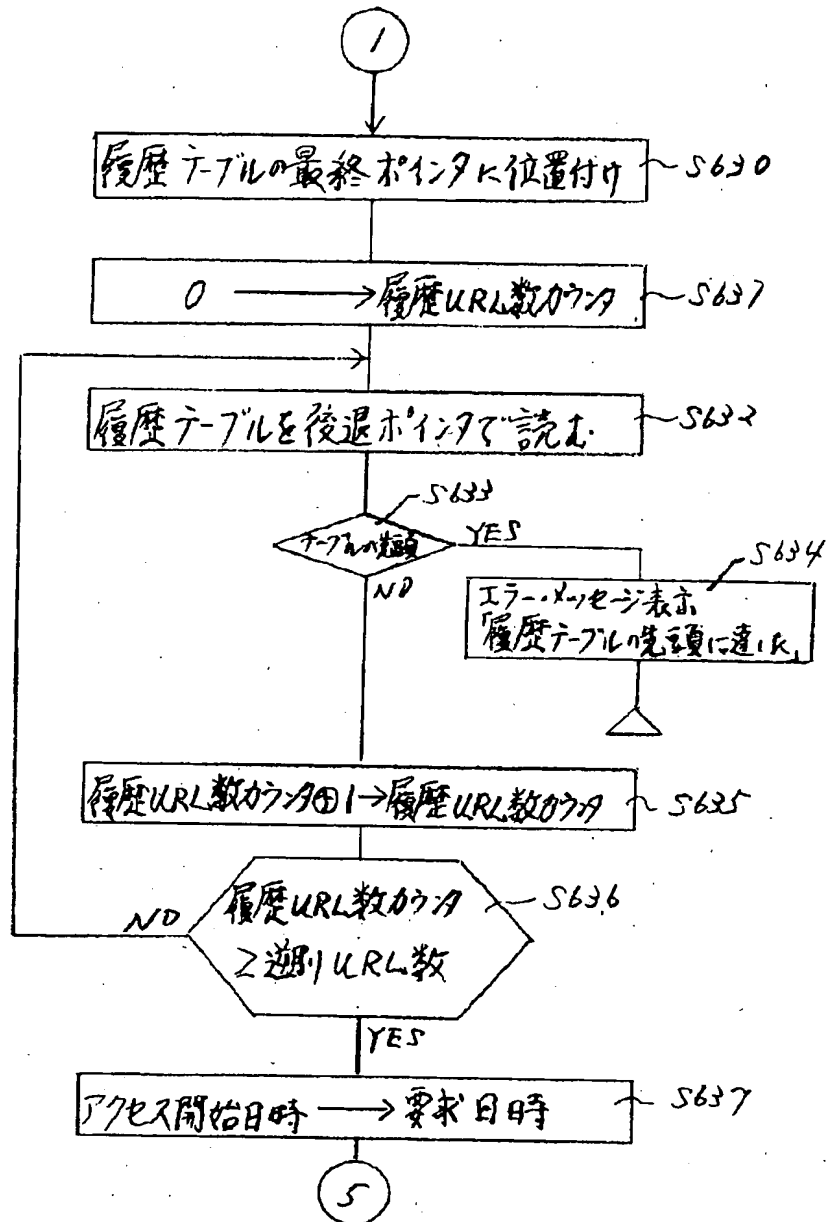


【 図10 】



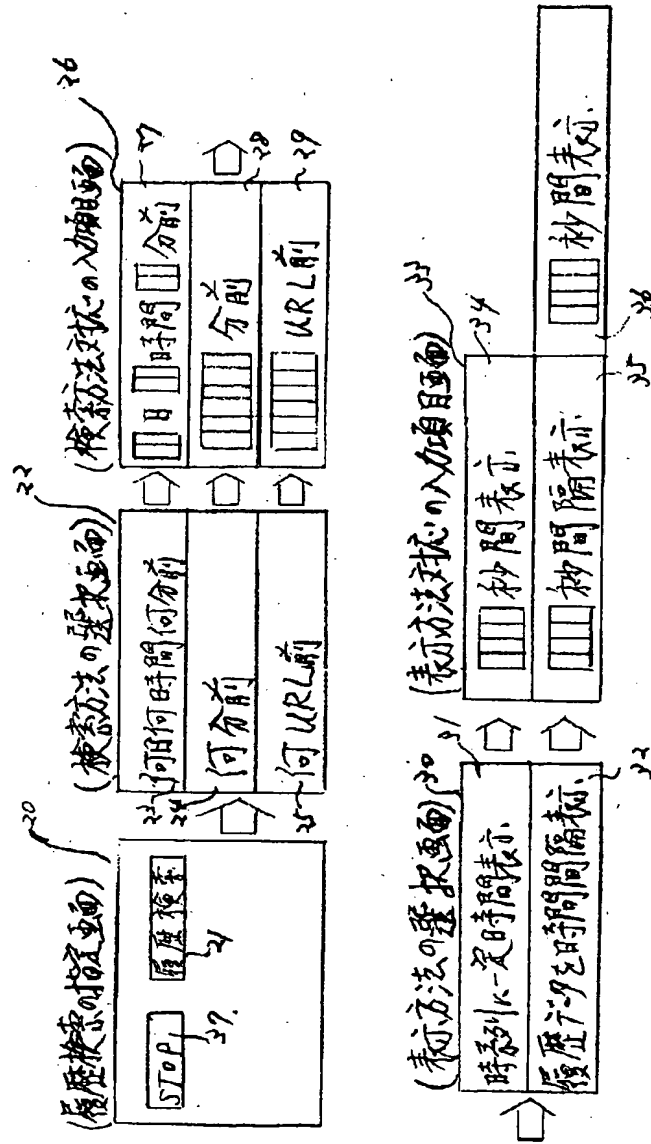
【 図11 】

図 11



【 図13 】

図 13



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☒ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.